

平成 27 年 8 月 4 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ プ ロ セ ル  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 横 山 周 史  
 (コード番号：4978)  
 問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 帯 田 大 悟  
 (TEL. 045-475-3887)

**当社事業「大量供給可能で高機能なヒト iPS 細胞由来心筋細胞の試作品開発」に対する  
 平成 27 年度革新的ものづくり産業創出連携促進事業補助金採択  
 及び営業外収益としての計上見込みに関するお知らせ**

本年8月3日、当社事業「大量供給可能で高機能なヒト iPS 細胞由来心筋細胞の試作品開発」（以下「本事業」）が、平成27年度革新的ものづくり産業創出連携促進事業の補助金交付に採択されましたのでお知らせいたします。

これまでの新医薬品の開発において、臨床試験の前段階で、主に動物を用いた安全性薬理試験が行われてまいりました。しかし、動物実験は購入や飼育などに多大なコストが掛かる上に、安全性や有効性を確認できた場合でも、臨床試験で予想外の不整脈作用などの副作用が発現し、開発が中断されるケースも少なくありませんでした。こうしたなか、ヒト iPS 細胞を安全性薬理試験に活用されることが大きく期待されております。

この度、当社は自社で蓄積してまいりました iPS 細胞関連技術と、東京女子医科大学が持つ 3 次元培養技術を活用し、ヒト iPS 細胞から心筋細胞を高機能かつ大量に製造するための、実用化に向けた試作品開発を行います。小型のリアクター（培養装置）を用いることによって心筋細胞を省スペースで大量製造できるようになり、当分野における市場からの大きい需要に応えることが可能となります。

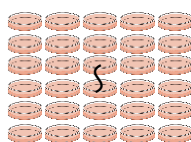
iPS ヒト由来心筋細胞を大量生産による効率的な供給によって促進することで、当社事業の飛躍的な拡大を目指してまいります。

**iPS細胞から心筋細胞を作製**



**小型リアクター(培養装置)を用いることで、心筋細胞を省スペースで大量製造することが可能となります**

培養皿50枚



【現在】

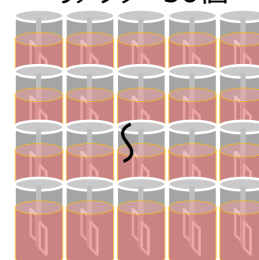
リアクター1個



液量100ml リアクター  
培養皿50枚分の製造能力

月産100製品  
年産1,200製品  
(売上換算)約1.5億円

リアクター50個



月産5,000製品  
年産60,000製品  
(売上換算)約72億円

なお、この度の採択による補助金約 40 百万円の受領時期は協議中ではございますが、受領した会計年度の当社連結業績に営業外収益として計上する見込みです。平成 28 年度 3 月期の業績予想に与える影響については判明次第お知らせいたします。

以 上